

(別紙5)

補助事業番号 27-1-117  
補助事業名 平成27年度 地域ふれあい交流活動補助事業  
補助事業者名 福島県いわき市立小名浜第一小学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域にある大学や研究機関、エネルギー環境教育関係の施設での多様な体験活動と放射線教育関係の授業実践を通して、地域に根ざした人と人とのつながり、ふるさとを愛する心の醸成をもとに、子どもたちの輝く未来につながる「生き抜く力」の育成を一層確かなものとするようにする。

(2) 実施内容

(URL)

[https://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0710109&type=2&category\\_id=6788](https://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0710109&type=2&category_id=6788)



① 物品購入費  
○ 5 学年：放射線教育の授業 (27. 7. 15)



② 物品購入費  
○ 4 学年：放射線の遮へい実験の授業の授業 (27. 7. 15)



③ 物品購入費 (27. 7. 15)



④ 消耗什器備品費

○6学年：校地内の放射線の測定



校地内の放射線を測定した結果



⑤ 物品購入費

○6学年：校地内の放射線の測定  
(27. 10. 27)

⑥ 消耗什器備品費

放射線測定結果の変化  
● : 0. 01~0. 10  $\mu$  Sv/h  
● : 0. 10~0. 20  $\mu$  Sv/h



⑦ 車両借上料

○1学年：水族館の見学(27. 9. 11)



⑧ 車両借上料

○2学年：郵便局の見学(27. 9. 11)



⑨ 車両借上料

○3学年：ほるる（いわき石炭  
化石館）の見学  
(27. 9. 11)



⑩ 車両借上料

○4学年：大王製紙工場  
（バイオマス発電）の見学  
(27. 9. 11)

(別紙5)



⑪ 車両借上料  
○5 学年：太陽光発電の見学  
(27. 9. 11)



⑫ 車両借上料  
○6 学年：常磐勿来火力発電所の  
見学(27. 9. 11)



⑬ 物品購入費・消耗什器備品費  
○6 学年：放射線教育授業公開(27. 10. 29)  
・いわき市内の小・中学校の先生方60名参加



⑭ 物品購入費・消耗什器備品費  
○6 学年：放射線教育授業公開  
(27. 10. 29)



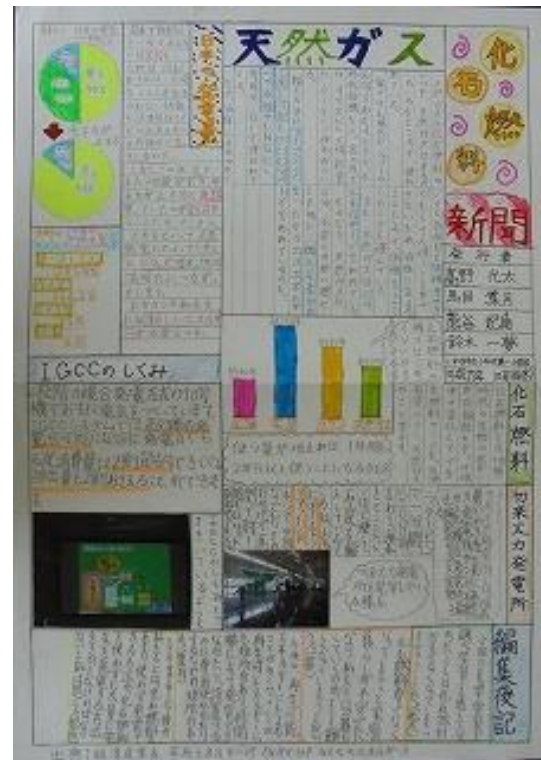
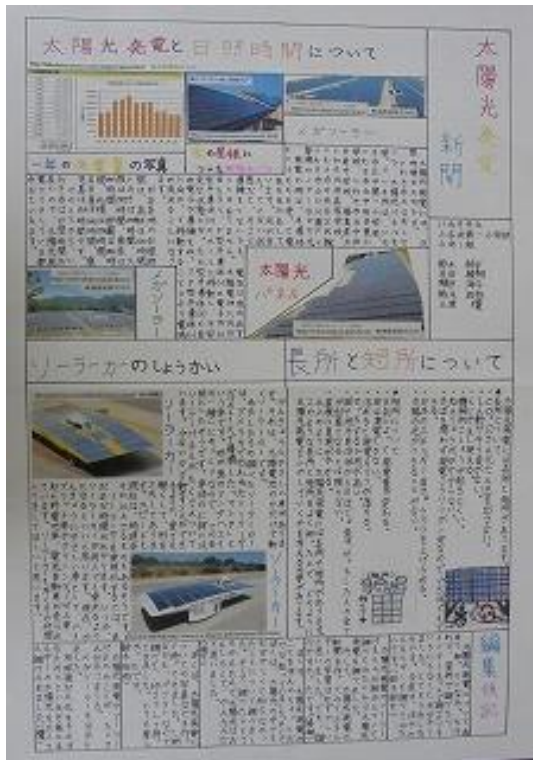
⑮ 車両借上料  
○4 学年：見学・体験学習の成果発表会  
(いわき明星大学) (27. 11. 28)



⑯ 車両借上料  
○5 学年：エネルギー施設見学・体験  
学習の成果発表会

(別紙5)

(いわき明星大学) (27. 11. 28)



⑰ 車両借上料

○ 4 学年：見学・体験学習の成果を  
壁新聞で発表

(27. 11. 28)

⑱ 車両借上料

○ 6 学年：エネルギー施設見学・体験  
学習の成果を壁新聞で発表

(27. 11. 28)



⑲ 物品購入費

○ 4・5 学年：長崎市立山里小学校で  
放射線教育での交流活動

(28. 1. 27)



⑳ 消耗什器備品費

○ 5 学年：長崎市立山里小学校の  
6 年生を招いて放射線教育  
の実施 (28. 2. 9)



⑳ 物品購入費・消耗什器備品費 (28. 2. 9)

○5学年：長崎市立山里小学校の児童と  
放射線教育とエネルギー教育で交流授業



㉑ 車両借上料・消耗備品什器費備品費

○全学年：今年度最後の授業参観で  
エネルギー教育体験活動や放射  
線教育の学習成果の発表

(28. 2. 26)



㉒ 車両借上料・消耗什器備品費

○全学年：子どもたちの発表を聞く  
保護者・地域の方々

(28. 2. 26)

## 2 予想される事業実施効果

- エネルギー環境教育と放射線教育での体験活動や見学学習を通して、地域にある研究機関や企業等との新たな学習プログラムを構築することができ、次年度の教育活動で改善を図り、さらに効果のある教育活動を推進できる体制を確立することができた。
- 教育の場を地域に広げることができたことで、地域の人と人とのつながりつながりがふるさとを愛する心につながり、震災後の復興から子どもたちの未来につながる夢や希望を育むことができた。
- エネルギー環境教育は、自分たちでできる環境問題への取組を考え、一人一人ではわずかな力でも、まとめれば大きな力となり、それが家庭や地域に広がり、地球の環境保

(別紙5)

全につながることを意識させることができた。

- 放射線教育は、子どもたちが客観的なデータをもとに地域の現状を正確にとらえることができたことで、放射線の基礎的な知識を身につけ、科学的な根拠をもとに、自分で考え、判断する力を育成することができた。
- 全学年で進めてきたエネルギー環境教育や放射線教育を保護者や地域だけでなく、福島県再生可能エネルギー教育発表会で発表する機会を得たり、各種コンクールで入賞したり、福島県と長崎県の交流事業に推薦され、本校の取組を長崎県の子どもたちと交流したりできたことで、子どもたちの学習成果を大きく広めることができた。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

「なし」

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

「なし」

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 福島県いわき市立小名浜第一小学校

(フクシマケンイワキシリツオナハマダイイチショウガッコウ)

住 所： 〒971-8151

福島県いわき市小名浜岡小名字台ノ上1-1

代 表 者： 役職名 校長 田村 尚 (タムラ ヒサシ)

担 当 者 名： 役職名 校長 田村 尚 (タムラ ヒサシ)

電 話 番 号： 0246-54-2626

F A X： 0246-54-2627

E - m a i l： [onahama1-e@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:onahama1-e@city.iwaki.fukushima.jp)

U R L： <https://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0710109>